



今月は、地域振興マネージャーとして、商工観光課で定期的に2年間、仕事をされる前田香保里さんをご紹介します。

Q 商工観光課ではどんな仕事をされますか？

この度、阿蘇市にご縁があり、「阿蘇観光戦力づくり委託事業」を受け、(株)ANA総合研究所(東京都)からの派遣で参りました前田です。これから月に一週間、商工観光課に来まして、阿蘇市を元気にするお手伝いをさせていただくことになりました。よろしくお願ひします。

主な仕事として、専門であるホスピタリティ(人が生み出す価値、プラスαの価値を阿蘇市で生み出せるよう活動していきたいと思

っています。そのためには市民の方々との対話が最も必要ですので、一人でも多くの方々のお話をお聞きし、その中から、観光客の心をぐっと掴むものを皆さんと一緒に見出ししていきたいと考えています。

Q 客室乗務員であった経験で、国内外の観光地もたくさんご存知かと思いますが、阿蘇市の印象は？

阿蘇は「阿蘇山」のイメージしかなかったのですが、今こうして数日滞在しておりますと、「外輪

山」の美しさが心に刻まれます。周囲見渡す限り同じ高さの山で囲まれたなんともめずらしい地形。元の山はどれほどの大きさだったのかロマンもありますし、まさに地球規模の景観美！こんなすばらしい場所は私の知る範囲ではないと思います。さらにカールデラの中に人々の生活がある。本当に興味をそえられるまちです。

Q 来月から九州新幹線が全線開業するのに合わせ、九州各県が魅力のアピール合戦を展開していますが、本市へアドバイスがありますか？

九州を旅する中で阿蘇を選択してもらうには、観光資源にプラスする魅力があると思います。このまちを訪れた方が本当に来てよかったという「満足度」を高めることが大切です。

「今の瞬間、目の前にいる来訪者をより満足させるにはどうすればよいのか」と考えた時、魅力ある素材と、その魅力をさらに高めて伝える人の存在がとても重要です。また、高額なお金を支払うことで「満足する」サービスを得ることはできませんが、形あるものは、必ずどこかで類

似したものが出てきます。ガイドブックや情報では得られない地域の方の気配り、思いやりから生まれる「おもてなし」は訪れたからこそ得られる「唯一無二の価値」となります。初めて会った土地の人々に親切にしてみたら、もてなしていただいたことはいつまでも心に残り、阿蘇の素晴らしい景観とともに旅を終えたあとまでも語られることでしょう。そして、「また来たい阿蘇」を考えれば、冬には夏の阿蘇の魅力、夏には冬の阿蘇の良さを一言添えるか添えないかだけでも次の旅を誘うことに繋がりますね。門前町の方が内牧温泉を、内牧の方がまた別のまちの良さを紹介するとか、いい情報は地域の垣根を越えても提供する姿勢も観光する側からすれば大変うれしいことです。訪れた人と出会った人と、たくさん笑顔のあふれるまちはとても素敵だと思います。

新幹線も来ますし、阿蘇を訪れることを楽しみにしている方が全国にたくさんいるわけですから、この期待に応え「やっばり阿蘇は最高だった！」と心から喜ばれるよう、どうか、皆さん一緒に頑張っていきましょう。



かほり
前田香保里さん

■プロフィール

東京都板橋区在住

全日本空輸株式会社に客室乗務員として入社。その後、平成19年から(株)ANA総合研究所に入社し、現在に至る。

※ANA在職中は乗務をするのととも機内サービスを担当する部署で機内食や食器などの選定・サービス品質マネジメントにも従事。現在はホスピタリティを研究し、大学やセミナーでのホスピタリティセミナーを担当している。